



立志の集い

2月7日（金）5・6校時に「立志の集い（立志式）」が行われました。「立志の集い」とは、「元服」にちなんで行われる行事で、山口県内ではほとんどの中学校の2年生の行事として行われています。「元服」とは奈良時代から明治時代まで行われてきた儀式（通過儀礼）ですが、数え年でいう15歳の男子が大人への第一歩を踏み出す節目として行われてきました。現在でいう成人式にあたります。昔は満14歳で立派な大人だと考えられていました。越前藩士の橋本左内が満14歳のときに書いた「啓発録」で次のことを書いています。

- 一 去稚心（稚心を去れ）「子どもじみた甘えを脱却せよ」
- 二 振気（気を振るえ）「人に負けまいと強く生きよ」
- 三 立志（志を立てよ）「自分の目標を揺るぎなく定め、ひたすら精進せよ」
- 四 勉学（学に勉めよ）「優れた人物の立派な行いを見習い、実行せよ」
- 五 択交（交友を択ぶ）「自分の向上つながる友を択（えら）べ」

橋本左内の「啓発録」に「立志」という項目があることから、「立志の集い（立志式）」が始まったと言われています。

本校では、この「立志の集い」は、中学2年生がキャリア教育の一環として行っています。「志」を立て、これからの人生の指針と強い意志を表明し、前向きに自己の将来を設計しようとする力を培うことが目的です。3年生になって、自己理解を深め、よりよい進路選択ができる力を育むことに生かされてきます。

「立志の集い」には、雪が降りしきる中、たくさんの保護者や地域の方にご参観いただきました。2年生は一人ひとり体育館の壇上に立ち、自分の将来の夢や大人像、これを実現するためのこれからの自分自身の課題と努力点について、400字原稿用紙に決意として書き、それを2行程度に要約して暗記し、堂々と発表しました。2年生一人ひとりが自分自身に向き合いつつ、真剣に自己の将来について考えたということがよく伝わってきました。これからの2年生の成長が楽しみです。



▲【ステージ上に上がった様子】▼



▲【堂々と決意表明する生徒】▲

【立志の集いを終えて】2年 柴田 蒼生 さん

今回の立志の集いは、自分の目標と向き合うことができる貴重な時間となりました。

まだ、将来の夢は決まっていませんが、自分がどんな大人になりたいかを考えたときに、「人から信頼される大人になりたい」と思いました。

責任感を持ち、これを自分が生きていく軸として、これからも日々努力していきます。

地域連携教育

地域連携教育として、右田地区食推の方々と連携した調理実習が行われましたので紹介します。

【調理実習】

12月12日～17日にかけて、3年生各学級の家庭科の時間に、食生活推進協議会右田支部の方々と講師としてお迎えし、調理実習を行いました。3年生は「郷土料理」がテーマですが、本年度は、「瓦そば」をつくりました。山口県を代表する郷土料理です。

初めて自分で「瓦そば」をつくったという生徒がほとんどだったのではないかと思います。生徒たちは、各班に分れ、地域の方々からの指導を受けながら、手際よく調理していました。



【講師の先生の紹介】



【調理の様子】



【調理の様子】



【瓦そばの完成】



【講師の先生へのお礼】

【調理実習の感想・気づき】 3年 柏村 晃洋さん

僕は調理実習を終えて、地域の方々と関係を深めることができました。僕はこれまで瓦そばを作ったことがなく、調理実習もコロナの影響で今回が初めてだったのでうまくできるか不安でした。始まってみれば調味料を間違え、僕たちの班がとまどい、混乱していたとき、助けてくださったのが地域の方々でした。すごく的確に解決策を出してくださったので、僕たちは助かりました。失敗しても分からなくても、明るい笑顔でご指導くださいました。班の中の空気が良くなり、地域の方々と班のメンバーとの関係を深めることができました。初めての調理実習は、失敗もありましたが、ほんとうに楽しかったです。

学校運営協議会

2月12日（水）今年度最後の学校運営協議会が本校応接室で行われました。本年度のコミュニティ・スクールとしての取組、地域連携教育の取組を振り返り、次年度に向けて意見交換を行いました。

【コミュニティ・スクールとしての1年間を振り返って】 学校運営協議会会長 大本 学司 様
小幡校長先生のリーダーシップのもと、先生方はそれぞれの強みを生かしながら右田中教育にあたっておられ、心強く思っています。登下校時に道路で出会っても、気持の良い元気なあいさつをしてくれる生徒が多く、うれしい気持ちになります。来年度はボランティア活動に力を入れていくということですので、ぜひ、右田中生徒のパワーをふるさと右田のために発揮してもらえると嬉しいです。